令和元年６月２６日

学校だより

射水市立作道小学校
１７２号

一日のスタートは爽やかな挨拶で

今年も12日～14日の３日間、「小中合同さわやか挨拶運動」が行われました。本校の子供たちだけでなく、新湊南部中学生、小・中学校のＰＴＡ役員の皆様、そして、地域の皆様も大勢参加してくださいました。

登校してきた子供たちは、校門から玄関に向かって並んでおられる多くの方々とハイタッチしながら挨拶を交わしていました。

終了後には参加者全員で円になり、小・中学校各々の代表者挨拶や地域の方の自己紹介も行いました。挨拶運動を通して、ますます小・中学校や地域との繋がりが強くなったように感じました。ご協力いただきました皆様、本当にありがとうございました。

＜５年　田植え体験　5/30＞

作道ファームさんのご協力の下、今年度も昔ながらの田植えを体験させていただきました。初めて素足で水田に入った子供も多く、泥の感触に歓声があがっていました。転がしで印を付けたら、３～４本の苗を束にして植え付けていきます。秋には、両手では囲めない位の株に生長するそうです。作道ファームの方々からは、「みんなの喜ぶ姿を見ることが、私たちの楽しみながいちゃ」との声も寄せていただき、子供たちも温かい気持ちになったようです。秋の稲刈りを楽しみに、見守っていきたいと思います。

＜１・２年　終日校外学習　6/14＞

１・２年生でファミリーパークへ校外学習に行ってきました。２年生は事前に当日の目当てや活動、注意点について１年生に説明する集会を開くため、一生懸命準備を重ねていました。そして、当日は、しっかりと１年生と手をつなぎながら園内を歩いていました。その姿からは、「１年生を守るんだ」「１年生を楽しませるんだ」といった、幼いながらにもホスピタリティの精神が感じられました。１年生も２年生の言うことをよく聞いて、頑張って歩いていました。同じ場所を訪れても、各々の発達の段階によって役割も変わるため、そこで学び取っていくことも違ってきます。よい伝統がここにも受け継がれていました。

＜道の子　大活躍！　5/26、6/9,15,23＞

先月２６日に市体陸上があり、７名もの児童が県大会出場権を獲得しました。また、今月９日のわんぱく相撲射水場所では、団体で３位、個人戦でも各学年で優秀な成績を収めました。続く15日の太閤山相撲においても、個人戦で６年藤森蒼史さんが準優勝に輝きました。さらにわんぱく相撲県大会では、女子の部で４年酒井萌華さんが見事３位に入り、８月25日に東京で行われる全国大会への切符を手にしました。

ご家庭のご協力、ご指導に感謝するとともに、短い時間を駆使しながら懸命に指導に当たってくれている本校職員と一緒に、喜び合いたいと思います。

これからも、自分の可能性を拓くチャンスを生かし、果敢にチャレンジしていく子供たちを支えていきたいと思います。応援をよろしくお願いいたします。

＜縦割り班でなかよし集会6/24＞

縦割り班の仲間がより仲よくなることをねらいに、校内オリエンテーリングを行いました。リーダーを先頭に校内11か所のチェックポイントを回り、様々な課題に挑戦しました。課題が達成できた瞬間には、大きな歓声があがるほど、大いに盛り上がりました。

お世話をしてくれた集会委員の子供たち、そして、縦割り班のみんなをまとめて仲よく活動できるように配慮してくれた６年生のお陰で、楽しい集会になりました。

＜足元の新聞紙にグループ全員が乗るように工夫する子供たち＞

＜プール開き　6/25＞

子供たちが待ちに待ったプール開きを行いました。梅雨入りしているとはいえ、当日は25度を超える夏日になり、子供たちはプールの中で元気にはしゃいでいました。１年生の子供たちは６年生におんぶをされて、初めて小学校のプールに入りました。１年生も６年生もとても嬉しそうで、笑顔がはじけていました。

プール開きに向けて、５・６年生が丁寧にプールを掃除してくれたお陰で、とても気持ちのよいプール環境になりました。また、当日、模範泳法を見せてくれた子供たちの泳ぎも大変すばらしく、みんなのお手本になりました。

今年の夏も自分の目当てに向かって、安全に水泳学習に取り組んでほしいと思います。